

<完走メダルについて>

メビウスの輪（表と裏が縁を乗り越えずにつながっている環）を今大会メダルのモチーフとし、コロナ禍で離れていても心は一つということを表しています。

また、第10回大会を記念した10を模した竹の円の中には「難を転ずる」として名高い南天をあしらひ、厄除けづくしによってランナーの強力な守護神のような記念品となるよう、コロナ禍に負けない時代の到来を願うデザインとしています。

（デザイン協力：京都徽章工芸協同組合）



<メダルリボンについて>

京都マラソン 2021 で完走したランナーに送られる、完走メダルのメダルリボンは、前回大会で大好評だった京都の伝統工芸品である京友禅の柄をプリントします。コロナ禍のなか、厄除け・魔除けの願いが込められています。

（デザイン協力：木村染匠株式会社）

○表面

表地には、魔除けの意味を持つ麻の葉、籠目、鯨小紋、格子をあしらひ、10回大会にちなんで竹の丸紋を数字の10に見立て、丸紋の中にひょうたん、南天、桜の花を表現しました。南天には「難を転ずる」ということで厄除けの意味を、ひょうたんにも悪いものを吸って、外に出さないということで魔除けの意味を込めています。



○裏面

裏地には、「再生」、「厄除け」の意味が込められている鱗の柄を取り入れ、コロナ禍における魔除けを表現しました。

